

2. 事業の概要と成果	
<p>(1) プロジェクト目標の達成度 (今期事業達成目標)</p>	<p>インドネシアの中央・地方政府において有効な「行政事業レビュー実施のためのテキストブック」を作成、配布することができた。また、テキストブックを用いたセミナー（ウェビナー）を開催、成果欄に記載のとおり、高評価を得た。</p> <p>【参考：申請書記載の今期事業達成目標】 インドネシアの中央・地方政府において「行政事業レビュー」を実施することが重要と考えており、「行政事業レビュー」が有効に機能するための仕組みを構築する。</p>
<p>(2) 事業内容</p>	<p>1 「行政事業レビュー導入のためのテキストブック」作成</p> <p>1-1 インドネシアの現状、課題整理 2020年3月1日からインドネシア、ジャカルタに6日間の日程で往訪。往訪&打ち合わせ相手は下記の通り。 TIFA 財団（現地提携先）、現地 NGO（トランスペアレンシーインターナショナル、インドネシアバジェットセンター）、日本大使館、JICA、JAPAN Foundation、BAPPENAS（インドネシア国家開発企画庁）、Ken Comboy 氏（政府コンサルタント 河野太郎氏より紹介） ①TIFA 財団、現地 NGO、および、BAPPENAS からのヒアリングを実施</p> <p>→TIFA 財団や NGO の立場からすると、政府が行う事業の「予算策定」には「ムスレンバン」と呼ばれる住民ヒアリングの場が制度的に1年に1回用意されていることがわかった。これは形骸化しているところもあり、有用性に疑問があるとのこと。また、実行済み事業に対する評価の仕組み、さらには、住民の意見や意思を反映させる仕組みは一切ないことが判明した。</p> <p>→特に現地の課題を吸い上げるためにも、現地情報に詳しい CSO や NGO、村の村長や職員、県レベルの職員と Focus Group Discussion を定期的に行った（Tifa 財団主導）</p> <p>-1 回目 2020/8/14 対象：NGO/VS0、、参加者：8名（Indonesia Budget Center、Indonesia Corruption Watch、Institute for Research and Empowerment などの担当者） 目的：行政事業のモニタリングと評価のメカニズムの問題点の把握、共通課題の抽出、あるべき内容の確認、各団体が行ったトライアルについて</p> <p>-2 回目 2020/9/ 4 対象者：村長、村職員参加者：7名（Sriharjo 村長、Labanan 村長他）、 目的：村の当事者レベルで感じている課題、事業評価の仕組みのヒアリング、メカニズムの課題や弱点の確認、改善のアイデア出し</p> <p>-3 回目 2020/9/10 対象者：県職員、参加者：6名（Kuningan 県、Sumbawa 県他） 目的：県の当事者レベルで感じている課題、事業評価の仕組みのヒアリング、メカニズムの課題や弱点の確認、改善のアイデア出し</p> <p>これら FGD が書き、②のアウトプットとなった</p> <p>②特に政府、地方自治体など、どこにどのような課題があるかを確認</p>

→国の方針としては、Open Government Indonesia という組織を立ち上げるくらい、行政や職員の「透明性」「効率性」「住民参加」を求めている。そういう中で、さまざまな実証実験が始まっていることが分かった。自治体や国としても住民が行政に参加できる仕組みがあることを探索していることが分かった。

1-2 「行政事業レビュー」導入の具体策検討

①チレボン県や現地 NGO と関連の深い自治体に興味があるところがないか等のヒアリングおよび行政事業レビューに興味がないか等の確認

→TIFA 財団や現地 NGO にヒアリングをしたところ、興味ある自治体候補は列挙できそうであることが判明。特に、ジョグジャカルタ州やパダンパンジャン、バリにある自治体は積極的に住民参加を入れたい意向があることが分かった

②BAPPENAS (国行政) に対するヒアリングおよび提案を実施し、OPEN GOVERNMENT INDONESIA の 2021-2022 に行政事業レビューの実施が採択

1-3 テキストブック作成

上記 1-1, 1-2 での議論をふまえ、テキストブックを作成した。

①日本語によるテキストブックの制作

②インドネシア現地に沿った形での事例抽出模索

ストーリー作り、翻訳作業

③TIFA 財団に対する勉強会の実施、インドネシアに適した内容にするために資料を修正・追加

④事例掲載のための地方自治体ヒアリング（群馬県太田市、千葉県鴨川市、君津市等）を随時実施

⑤作成したテキストブックは 1000 部印刷し、中央・地方政府の関係部局に配布

⑥テキストブックの概要動画を作成し、Youtube に掲載

※上記について、当初はインドネシアにおいて 7 回のワークショップおよび本邦研修を開催予定だったが、コロナ禍のため現地に赴くことができなかった。しかし、現地パートナーの Tifa Foundation とオンラインにてワークショップ（短時間の打ち合わせも含め、1 週間に一度のペースで 50 回以上実施。）を重ねることで成果を得ることができた。

2 テキストブックを活用し、研修を行う

1-3 のテキストブック、動画を用いて、「行政事業レビュー」の意義や必要性についての意識啓発のために研修会を行った。こちらも当初は現地予定だったが、コロナ禍のためウェビナー形式で実施した。

①インドネシアの中央・地方政府関係者、行政や財政の研究者など 145 名が参加

②日本からは河野太郎行政改革担当大臣、岡田康裕加古川市長がゲストスピーカーとして登壇

主なプログラム概要

・開催日：2021 年 5 月 6 日(木) 15:30-17:30

・参加者：145 名（政府職員 25 名、自治体職員 17 名、NGO44 名、その他大学や研究機関、メディア関係者による参加）

・内容：

	<p>-挨拶 (Tifa、構想日本、OGI、河野大臣)、本のローンチ説明 -事業レビュー説明ビデオの放映 -事業レビューの説明 (構想日本) -加古川市の事例説明 (岡田市長) -パネルディスカッション (OGI マハラニ氏×Tifa Nurma 氏) -質疑応答</p>
<p>(3) 達成された成果</p>	<p>【計画①】 インドネシアで「行政事業レビュー」が有効に機能するための仕組みの構築を行い、それをテキストブックとしてまとめる。その後、この仕組みの認知度を向上させるために研修会を実施しつつ、仕組みの有効性をはかる。 それらの成果指標として以下の①②を定める。</p> <p><u>成果①「行政事業レビュー」が有効に機能する仕組みが構築される</u></p> <p>成果を測る指標： 1-1 「行政事業レビュー」の有効性についての評価 (研修会参加者へのアンケート…【目標】アンケート回答者の80%が有効であると回答)</p> <p>(2) 2に記載のウェビナーにおいて参加者へのアンケート調査を実施した結果、以下のとおりとなった。</p> <p>---</p> <p>○インドネシアにおいて「行政事業レビュー」は有効か？</p> <p>非常に有効である 28% 有効である 60% わからない 9% 有効でない 2% 全く有効でない 0%</p> <p>○ウェビナーは満足でしたか？</p> <p>非常に満足 40% 満足 46% 普通 14% 不満 0% 非常に不満 0%</p> <p>---</p> <p>本目標については、当初の目標を達成したと捉えている。</p> <p>1-2 「行政事業レビュー」の有効性についての評価 (中央・地方政府の関係者へのインタビュー、アンケート…【目標】インタビュー、アンケート対象者の80%が有効であると回答)</p> <p>(2) 1-2①に記載のヒアリングにおいて、インドネシアにおいて「行政事業レビュー」が有効かどうかを聞いたところ、「行政事業レビュー」が有効でないと話した人はおらず、実現にむけて様々なハードルはあるものの有効性については全員からポジティブな回答を得ることができた。</p> <p>本目標については、当初の目標を達成したと捉えている。 ※当初はアンケート調査をヒアリング時に実施する予定だったが、対面ではなくオンラインでの会合となり、アンケートの依頼が困難であったことから、ヒアリング時に聞き取りで調査を行うこととした。</p>

	<p><u>成果②構築した仕組みの認知度が向上する</u></p> <p>成果を測る指標： 2-1 本取り組みについて、国全体への波及度 (全国メディアへの掲載…【目標】1社以上の掲載)</p> <p>(2) 2に記載のウェビナーをインドネシアのメディアが取材し、8社に取り上げられた。 本目標については、当初の目標を達成したと捉えている。</p> <p><u>成果③一連のプロセスによって、「行政事業レビュー」の研修や試行および本格実施に向けた動きをする団体が出てくることも目標とする。</u></p> <p>(2) 1で作成したテキストブックを読み、「行政事業レビュー」に関心を持った2つの村(スリハルジョ村、グウォサリ村)から施行的に実施したいという希望があった。TIFA FOUNDATIONとともに実現にむけて進めていきたい。 本目標については、当初の目標を達成したと捉えている。</p>
(4) 持続発展性	<p>(2) 1で作成したテキストブックは著作権フリーで無償提供している。また、概要動画を作成し、Youtubeに掲載した。 これらを自由に活用してもらい、中央・地方政府の関係者、国会・地方議会の関係者、大学・シンクタンクをはじめとする民間団体が今後も「行政事業レビュー」の考え方や手法を学ぶことができる。</p> <p>また、(3) 成果③に記載の通り、2つの村(スリハルジョ村、グウォサリ村)から施行的に実施したいという希望がTIFA FOUNDATIONを通じて届いている。具体的な実践例があることで、他の地方政府や中央政府において、「行政事業レビュー」のイメージが具体的に湧き、より広範な実施につながるものと考えている。</p> <p>その結果、本事業が目指すインドネシアの汚職の減少、効果的・効率的な政府事業の執行、国民に開かれた政府の実現に対して、さらに寄与することが出来ると考えており、当団体としては、TIFA FOUNDATIONと協力し、継続的な支援を行っていきたいと考えている。</p>